

プチビブリオバトル in English ～Guam の中学生にお薦め本やその登場人物の魅力を伝えよう～

本単元で育成する資質・能力

(教科) 学びに向かう力 (学校) コミュニケーション

- 1 日 時 令和6年9月25日(水) 13:30～14:20
- 2 学 年 第3学年1組 (男子17名 女子18名 合計35名)
- 3 場 所 本館3F 3年1組教室

4 単元について

○ 教材観

本単元では、中学校学習指導要領解説 外国語編 に示された、(2) 話すこと [やり取り] イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる」力の育成を目標とする。これは、自分が伝えようとする事実や考え、気持ちなどのまとまった内容を伝えた上で、その内容に対する質問に応答するなどして相手とのやり取りを展開することができる力を身に付けさせることを目指すものである。

言語材料としては、間接疑問文、〔動詞＋(人)＋what など始まる節〕や現在分詞・過去分詞の後置修飾が取り扱われている。内容としては、防災・安全への関心を高め、地域の一員として防災に取り組む意識を持つことを題材としている。防災に関する図記号や標識が何を意味しているかを外国人に説明することができることをゴールとしているが、本校では、尾道市の施策と関連付け、グアムの中学生からの「日本の中学生が好きな本を送ってほしい。」というリクエストに応える言語活動を設定する。「日常的な話題」として「生徒の興味・関心の対象となること」の一つである本を取り上げ、その魅力や内容を伝えるだけでなく、相手からの質問に即興的に応答することができるような力を育む言語活動を仕組む上で適切な教材である。

○ 生徒観

本学級の生徒は、豊かな個性を認め合い、ペアやグループでの活動において共に学びあう雰囲気がある。本学年の生徒に令和6年8月23日に実施したアンケートの結果を表1および表2に示す。

表1 英語の学習に関わるアンケート【意識】

項目	あてはまる	やや	あまり	あてはまらない
英語の勉強は好きだ	17.3%	36.5%	23.1%	23.1%
英語の授業の内容はよく分かる	25.0%	48.1%	23.1%	3.8%
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	71.2%	23.1%	1.9%	3.8%

表2 英語の学習にかかわるアンケート【領域別】

項目	聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
英語を用いた活動の中で、苦手だと感じるものは次のうちどれですか。	25.0%	9.6%	30.8%	34.6%
英語を用いた活動の中で、得意、または楽しいと感じるものは次のうちどれですか	36.5%	19.2%	25.0%	19.2%

表1より、英語の学習や授業の理解度について肯定的な回答をした生徒は6割から7割程度にとどまっていることが分かる。しかしながら、9割を超える生徒が英語を学習することは将来役に立つと考えている。英語の授業にはいくらか難しさを感じる場面はあるが、社会に出たときに役立つ学習であるという意識は高い。

また表2より、「話すこと」に関する活動は得意であり、楽しいと感じている生徒が比較的多い半面、自分の考えや気持ちを英語で書く活動については、苦手意識を持っている生徒の割合が多いことが分かった。その理由として「正確に表現しないといけない、間違えちゃいけないと思ってしまうから。」「そもそも自分の考えを書くのが苦手なのに、更に英語で…となると難しい。」といった記述が見られた。コミュニケーションにおいては、正確でなくても、間違っている、伝える勇気を持てば分かり合えるという経験を積ませることが必要である。また、伝えたい情報が溢れてくるようなコミュニケーションの目的・場面・設定の工夫を凝らし、自分の考えや気持ちを整理する手立てを提示するなど、英語で表現することへの自信を持たせる指導が必要であることが分かった。

○ 指導観

指導については、グアムの中学生との交流を単元の終末パフォーマンス課題とする。「プチ・ビブリオバトル in English ～Guam の中学生にお薦め本やその登場人物の魅力を伝えよう～」と題して、英語を用いた簡単なビブリオバトルのような言語活動を設定している。オンラインで授業を繋ぎ、グループごとに選んだお薦め本の魅力や内容を伝えた後に、質疑応答をする。グアムの生徒たちに、お薦め本の中から読んでみたい本を選んで投票してもらうという活動である。以前尾道市の ALT を務めていた Imelda 先生からの「日本の中学生が好きな本をグアムで日本語を学ぶ生徒たちに送ってほしい」というリクエストメッセージを導入とし、グループごとにお薦め本の魅力や内容を伝えるスライドを作成する。スライドにキーワードや絵・写真などをまとめることを通して、伝えたい順番や聞き手に分かりやすい展開や構成を整理する。生徒が比較的楽しんで取り組める「話すこと」の活動を中心に据え、相手の立場に立って、見方・考え方を働かせ、よりよく伝えるための工夫をさせたい。

また、本時で取り扱う現在分詞の後置修飾、後に取り扱う過去分詞の後置修飾は、日本語にはあまり馴染みのない語順である。表現の練習をする際には、語順に慣れ親しむための活動を取り入れ、日本語と英語の語順の違いに加えて、長い節や句は後回しになりがちであるという英語特有の言語上の特性にも触れながら指導をしていく。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

授業の展開の場面等（ミニホワイトボード等を使用し）	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 （自己を認識する力、 自分の人生を選択する力）	コミュニケーション能力 （表現する力）		
	レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 speak） ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	（聞く） ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問することができる。

	レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	(聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。
	レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	(訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。
	レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、(大人の力も借りながら)自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。		

6 単元目標

- ① 間接疑問文、SV00 (what 節) や現在分詞・過去分詞の形容詞的用法 (後置修飾) などを用いた文の構造を理解するとともに、お薦め本の登場人物やキャラクターについて、情報をたずねたり伝え合ったりする技能を身につけること。【知識・技能】
- ② グアムの中学生にお薦め本の魅力や内容を伝えるために、伝えたい情報や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うこと。【思考・判断・表現】
- ③ やり取りの相手であるグアムの中学生の立場に立って考え、聞き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとする。【主体的に学習に取り組む態度】

7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
① 間接疑問文、SV00 (what 節) や現在分詞・過去分詞の形容詞的用法 (後置修飾) などを用いた文の構造を理解している。 ② お薦め本の登場人物やキャラクターについて、情報をたずねたり伝え合ったりする技能を身につけている。	グアムの中学生にお薦め本の魅力や内容を伝えるために、伝えたい情報や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。	やり取りの相手であるグアムの中学生の立場に立って考え、聞き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。

8 指導計画 (全 11 時間)

教科・領域の本質的な問い

言語や文化の異なる相手と、外国語を用いてコミュニケーションを図るには、どうすればよいだろう。

時間	学習課題		重点	記録	生徒の行動・思考	評価 〔評価方法〕
	ねらい					
	指導内容					

1	プチ・ビブリオバトル in English ～私たちのお薦め本はこれだ！～ Imelda 先生からのリクエストメッセージの内容を理解し、自分たちのお薦め本を選定することができる。 本単元のゴールを共有し、単元を貫く問いの設定を行う。単元を貫く問いの設定により、学習の見通しをもたせる。 スライドを作成させる。 【本単元のゴール】グアムの中学生に、お薦め本やその登場人物の魅力を伝えることができる。			・ Imelda 先生からのリクエストメッセージを受け、グループのお薦め本を選定する。 ・ 本単元の学習課題について、見通しを持つ。	やり取りの相手であるグアムの中学生の立場に立って考え、聞き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。
単元を貫く問い グアムの中学生に私たちのお薦め本やその登場人物の魅力を発信し、読みたい本を選んでもらうには、何をどのように伝えたらよいのだろう。					
2	プチ・ビブリオバトル in English ～オープニングの問いかけでグアムの中学生の心を掴もう！～ 間接疑問文の形や意味、用法を理解することができる。 間接疑問文の形・意味・用法を練習し、その構造を理解させる。	知		・ ペア・グループでの活動を通して、間接疑問文の形・意味・用法を練習し、その構造を理解する。	間接疑問文を用いた文の構造を理解している。
3	プチ・ビブリオバトル in English ～オープニングの問いかけでグアムの中学生の心を掴もう！～ 間接疑問文を用いて、お薦め本の内容や作者、登場人物等について伝えることができる。 間接疑問文を用いて、お薦め本の内容や作者、登場人物等について伝えるために、自己表現の練習をさせる。 スライドを作成させる。	知		・ 自分たちのお薦め本に登場する人物などについて伝える際に、間接疑問文を用いた構文がどのように活用できるかを考え、スライドを作成する。	お薦め本の登場人物やキャラクターについて、情報をたずねたり伝え合ったりする技能を身につけている。
4	プチ・ビブリオバトル in English ～ 〔動詞+ (人) + what などではまる節〕を含む文の形・意味・用法を理解することができる。 〔動詞+ (人) + what などではまる節〕を含む文の形・意味・用法を練習し、その構造を理解させる。	知		・ ペア・グループでの活動を通して、「動詞+ (人) + what などではまる節」を含む文の形・意味・用法を練習し、その構造を理解する。	SV00 (what 節)を用いた文の構造を理解している。

5	プチ・ビブリオバトル in English 〔動詞+ (人) + what などではまる節〕を包含文を用いて、お薦め本の魅力を伝えることができる。 〔動詞+ (人) + what などではまる節〕を包含文を用いて、お薦め本の内容やその登場人物等を紹介する際に役立つ表現の練習をさせる。 スライドを作成させる。。	知		・自分たちのお薦め本に登場する人物などについて伝える際に、「動詞+ (人) + what などではまる節」を用いた構文がどのように活用できるかを考え、スライドを作成する。	お薦め本の登場人物やキャラクターについて、情報をたずねたり伝え合ったりする技能を身につけている。
6	本時 プチ・ビブリオバトル in English ～お薦め本に登場する人物やキャラクターの様子を伝えよう！～ 現在分詞 (～ing) を用いて、お薦め本の登場人物について「何をしているのが誰なのか」を伝える文の構造を理解することができる。 現在分詞の後置修飾の形・意味・用法を理解させる。	知	○	・ペア・グループでの活動を通して、現在分詞の形容詞的用法 (後置修飾) を用いた文に慣れ親しむ。 ・語順のルールを知る。 (現在分詞 1 語で修飾する場合は名詞の前に置き、現在分詞を含む複数の語句で修飾する場合は名詞の後ろに置く。)	現在分詞の形容詞的用法 (後置修飾) を用いた文の構造を理解している。 〔ワークシート〕
7	プチ・ビブリオバトル in English 現在分詞 (～ing) を用いて、お薦め本の登場人物について「何をしているのが誰なのか」を伝えることができる。 現在分詞の後置修飾を用いて、お薦め本を紹介する際に役立つ表現の練習をさせる。 スライドを作成させる。。	知	○	・自分たちのお薦め本に登場する人物などについて伝える際に、現在分詞の後置修飾を用いた構文がどのように活用できるかを考え、スライドを作成する。	お薦め本の登場人物やキャラクターについて、情報をたずねたり伝え合ったりする技能を身につけている。 〔ワークシート〕
8	プチ・ビブリオバトル in English ～お薦め本がいつ、誰によって書かれたのかを伝えよう！～ 過去分詞を用いて、お薦め本がいつ、誰によって書かれたのかを伝える文の構造を理解することができる。 過去分詞を用いた後置修飾の形・意味・用法を理解させる。	知		・ペア・グループでの活動を通して、過去分詞を用いた後置修飾の形・意味・用法を練習し、その構造を理解する。	過去分詞の形容詞的用法 (後置修飾) を用いた文の構造を理解している。

9	プチ・ビブリオバトル in English ～お薦め本がいつ、誰によって書かれたのかを伝えよう！～ 過去分詞を用いて、お薦め本がいつ、誰によって書かれたのかを伝えることができる。 過去分詞の後置修飾を用いてお薦め本を紹介する際に役立つ表現の練習をさせる。	知	○	・自分たちのお薦め本がいつ、誰によって書かれたのかを伝える際に、過去分詞の後置修飾を用いた構文がどのように活用できるかを考え、スライドを作成する。	お薦め本の登場人物やキャラクターについて、情報をたずねたり伝え合ったりする技能を身につけている。 〔ワークシート〕
10	プチ・ビブリオバトル in English ～Guam の中学生にお薦め本やその登場人物の魅力を伝えるリハーサルをしよう～ Guam の中学生にお薦め本やその登場人物の魅力を伝える練習をしよう。 お薦め本の魅力や内容を伝えるための情報を整理し、グループ間で練習させる。 ★質問された内容への受け答えや、さらに付け加えて伝えるべき情報について、うまく言えなかった表現の確認とより良く伝える工夫、内容の改善をさせる。	思	○	・スライドをもとに、自分たちのお薦め本やその登場人物について、グループ同士でやり取りしあう。 ・他のグループからの質問内容を参考に、実際のグアムの生徒とのやり取りを想定して、スライドの内容や質疑応答の仕方を再検討する。 ★困ったときの質問お助けカードを準備する。	グアムの中学生にお薦め本の魅力や内容を伝えるために、伝えたい情報や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。 〔行動の観察〕
11	プチ・ビブリオバトル in English ～Guam の中学生にお薦め本やその登場人物の魅力を伝えよう～ Guam の中学生にお薦め本やその登場人物の魅力を伝え、質疑応答することができる。 ●パフォーマンス課題を実施する。 グアムの学校とオンラインで授業を繋ぎ、グループごとにやり取りをさせる。 グアムの生徒に、「一番読んでみたい本」を選んで投票してもらう。	主	◎	・パフォーマンス課題を実施する。 ・グアムの学校とオンラインで授業を繋ぎ、グループごとにやり取りをする。 ・グアムの生徒に、「一番読んでみたい本」を選んで投票してもらう。	やり取りの相手であるグアムの中学生の立場に立って考え、聞き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。 〔行動の観察（記録動画）〕
後日	●ペーパーテストを実施する。				

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○現在分詞（～ing）の形容詞的用法（後置修飾）を用いて、お薦め本の登場人物について「何をしているのが誰なのか」を伝える文の構造を理解することができる。

(2) 本時の評価規準と生徒記述の例

現在分詞の形容詞的用法（後置修飾）を用いた文の構造を理解している。【知識・技能】

〔B評価〕

英文例：The boy playing basketball is Sakuragi Hanamichi.

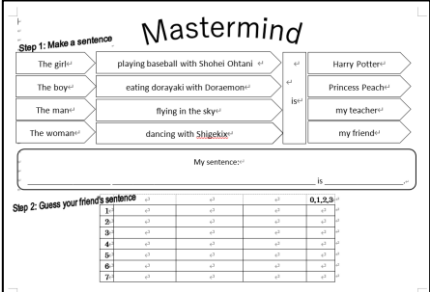
記述例：現在分詞（～ing）を使って「～している〇〇は・・・です。」という言い方が分かった。ペアの活動で、写真などを見ながら、いろんな人について～ingを使って説明することができた。

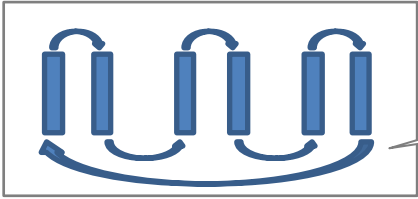
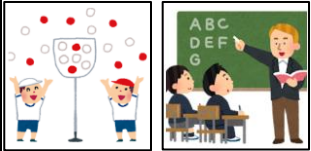
(3) 準備物

・テレビ、パソコン、ワークシート

(4) 本時の流れ（6時間目／全10時間）

過程	□学習活動 教師と生徒のやりとり	指導上の留意事項（○） ・予想される生徒の反応（・）	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 【評価方法】
	1 導入 10分		
導入	【帯学習】 □ペアで動詞の活用練習する。 【新出表現の導入】 教師 First of all, look at this slide. (茶色の犬の写真を見せながら) What can you see? 生徒 White cat. 教師 That's right. (寝ている犬の絵を見せながら) So how about this one? What is it doing? 生徒 It's sleeping. 教師 Very good. Then you can say "It is a sleeping dog." Let's say it together. 生徒 It is a sleeping dog. 教師 Great. 教師 Let's take a look at the next slide. (公園で野球をしている少年の絵を見せながら) How about this one? 生徒 Playing volleyball boy in the park...?	○不規則動詞の活用を復習し、本時に取り扱う現在分詞及び、後に取り扱う過去分詞の形を定着させる。 ○いくつかの例を示して、やり取りをしながら現在分詞の形容詞的用法（前置修飾）の使い方を導入する。 ○既習事項である形容詞と同じ位置（前置修飾）であることを、スライドで使用する文字のフォントや色・アニメーションなどを工夫して視覚的に示す。 ○現在分詞を含む形容詞句が2語以上になる場合は後置修飾になることを、スライドで使用する文字のフォントや色・アニメーションなどを工夫して視覚的に示す。	

	教師 Good guess! We can say “a boy playing baseball in the park” It means 公園で野球をしている少年. OK? 生徒 OK.	・ 2 語以上で修飾するときは、名詞の後ろに置くんだな。 ○いくつかの例を示して、やり取りをしながら現在分詞の形容詞的用法（後置修飾）の表現の語順や形に慣れ親しませる。	
2 新出表現に慣れ親しむ《ペアワーク》 15分			
展開・前半	Activity① 《Mastermind》  □ 【Step1】 ワークシートの各カテゴリーから 1 つずつ選び，“My sentence”を作る。 （例）The boy dancing with Shigekix is Harry Potter. □ 【Step2】 次にペアになり，互いに相手が書いた分を予想し，正解数のポイントを競う。 生徒 1 The girl flying in the sky is Princess Peach. 生徒 2 ○・×・×・×！ You got 1 point. 生徒 1 OK. Your turn! 生徒 2 Well, the man eating dorayaki with Doraemon is my friend. 生徒 1 ×・○・○・○！ You got 2 points.	○これまでに様々な文法事項の導入・練習で活用してきた言語活動を取り入れることで，生徒が不安なく取り組むことができるように工夫する。 ○ペアによって，やり取りにかかる時間に差があるので，決められた時間内に繰り返し予想しあうように指導する。 ○同じ活動を繰り返すことで，Key sentence の発話量を増やし，定着を目指す。 ○相手意識をもって考えながら文章を予測することを通して，見方・考え方を働かせることにつながる意識を培う。 ・この人はサッカーをしているから，“playing soccer”を使って文章を作っていそうだな。	

	□回転寿司方式で席を移動し、パートナーをかえながら、繰り返しペアワークを行う。 《座席の移動》  生徒は座席を矢印の方向に1つずつ移動しながらパートナーを替えていく。 □【Step3】 自分の席に戻り、My sentence を日本語に訳して、文型の意味を確認する。	○黒板に意味のまとまりごとに色分けをして視覚的に示し、英文の意味を捉える際のヒントを与える。 ・「青枠内の動作をしている黄色枠内の人は赤枠内の人物」ってことだな。	
3 新出表現を用いた即興チャレンジ [15分]			
展開・後半	Activity② 《即興チャレンジ Eraser game》 □Step1 モデル提示 テレビ画面に写真や絵、動画などを示し、そこに登場する人物について「～している〇〇は・・・です。」と描写する。  行事や学校生活の様子、キャラクターなど、身近な場面の写真や絵 □Step2 ペアで Eraser game ① 1人1枚プリントを配付（パターンAとBで2種類準備しておく。パートナーとは異なるプリントを持つ） ② ペアに1つ消しゴムを準備 ③ じゃんけんで勝った方から、相手のプリントに描かれている人物について、「～している〇〇は・・・です。」と描写する。 ④ 話している人は消しゴムを持ち、言い終わったら相手に消しゴムを渡す。 ⑤ 設定されたタイマーが鳴った時に消しゴムを持っていた人が負け。 →Challenge gameに参加する権利を得る。 ⑥ パートナーをかえて、①～⑤を繰り返す。	○Activity①で取り扱った表現を活用すればできることを、例を示して確認する。 ・さっきの言い方と同じだな。 ・写真や絵に描かれている人について言えばいいんだな。 ・黒板に字を書いているのは椎木先生だ。英語では“The woman writing on the blackboard is Ms. Shiigi.”だな。 ○与えられた表現ではなく、その場で即興的に知っている表現を駆使して描写すれば、1つの絵について複数の多様な英文が生み出されることにも気付かせる。 ・同じ絵でも、違う言い方ができるんだな。 ・いろんな表現の仕方があっていいんだな。 ・難しい単語は使えなくても、知っている簡単な単語に置き換えて言ってみよう。	

	□Step3 Challenge game ①参加資格を得た人は起立して、テレビに映し出された人々について、「～している〇〇は・・・です。」と英語で描写することができたら着席する。		
	4 まとめ。[10分]		
まとめ・終末	□Activity②で使ったプリントの中から、1人の人物を選んで、その人について描写する英文をワークシートに書く。 お薦め本を紹介する際に役立つ表現について考えさせる。	○与えられた人物について伝える英文を考えるを通して、自分たちのお薦め本に登場する人物やキャラクターについての説明にも、この文型が活用できることに気づかせる。	現在分詞の形容詞的用法（後置修飾）を用いた文の構造を理解している。 [ワークシート]

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	評価規準
B（おおむね満足できる）	現在分詞（～ing）の形容詞的用法（後置修飾）を用いて、「何をしているのが誰なのか」を伝える文の構造を理解し、写真や絵に描かれた人物やお薦め本の登場人物について説明することができている。
C（努力を要する）	現在分詞（～ing）の形容詞的用法（後置修飾）を用いて、「何をしているのが誰なのか」を伝える文の構造を理解することができていない。

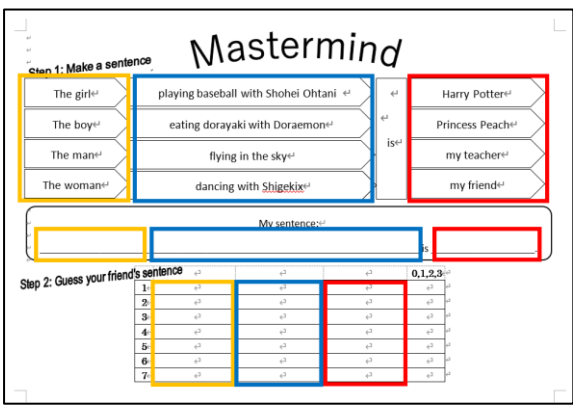
（5）板書計画

単元名 Unit4 Be Prepared and Work Together

学習課題 プチ・ビブリオバトル in English

～お薦め本に登場する人物やキャラクターの様子を伝えよう！～

ねらい 現在分詞（～ing）を用いて、お薦め本の登場人物について「何をしているのが誰なのか」を伝える文の構造を理解することができる。



お役立ち表現集～動詞の ing 形リスト～

座席の移動

